

すぎやま こういち先生

作曲家

テレビ草創期にディレクターとして“ザ・ヒットパレード”
“新春かくし芸大会”など多くの番組の演出を
手掛ける傍ら、作曲家として活動を開始。
「恋のフーガ」「花の首飾り」「亜麻色の髪の乙女」
「学生街の喫茶店」などのポピュラーヒットソングから、
アニメ・映画音楽、多くの CM ソングを送り出す。
また 1986 年に発売され、今や国民的ゲームと言える
『ドラゴンクエスト』シリーズ全作品の音楽を担当し、
そのオーケストラ・コンサートを各地で行っている。



《講義概要》

作曲家として様々な場で活躍し、ゲーム「ドラゴンクエスト」シリーズ全作品の音楽を担当しているすぎやまこういち氏が、ゲーム音楽とオーケストラについて講義を行った。

講義では、自身の経歴の説明の後、ゲーム音楽やドラゴンクエストとの出会い、ゲーム音楽及びドラゴンクエスト音楽の制作秘話について詳細に説明。また、「プロジェクトを始める時は、出発の時点で基本コンセプトを固めることが大事である」という、あらゆるクリエイティブなものづくりにおいて大切な信念を学生に説いた。

さらに、ドラゴンクエストシリーズの交響組曲について、電子音楽を生音楽へ転換した経緯を説明し、東京芸術劇場での「ドラゴンクエストIX」のコンサート映像を実際に上映。

「生の演奏は音楽のご馳走である」と伝え、オーケストラによる演奏の素晴らしさを紹介した。その中で、「音楽は心のタイムマシーン」、「音楽は心の貯金」、「音楽は心の応援団」であると学生にメッセージを投げかけ、音楽が人に与える影響や音楽の魅力についても解説。オーケストラ音楽に馴染みの薄い学生も生の演奏と音楽の奥の深さに感銘を受けた。

すぎやま氏の音楽制作に込める思いや音楽活動への姿勢に、信念と志を持って継続していくことの大切さを学生は学んだ。

《受講生の感想》

●音楽を愛していらっしゃることをひしひしと感じ、第一線でご活躍されている貴重なお話を聴くことができ大変勉強になりました。音楽への愛情が、素晴らしい音楽、人々の心に残る音楽を生み出していると感じました。音楽の素晴らしさを改めて考えることができました。 立命館大学・文学部・3回生

●「クリエイティブなものをつくる時、創作物の基本となるコンセプトを固めることが一番大事である」という言葉が特に印象に残りました。私は映像制作の際にそれを強く感じますし、これからも創作や企画の際には、基本のコンセプトを設定することを大切にして取り組みたいと思います。

立命館大学・映像学部・3回生

●ドラゴンクエストの音楽が印象に残り聴き飽きない理由が、聴くほどに味が出るというクラシック音楽に通じているからであることを知り、とても興味深いお話しでした。また、「音楽は心のタイムマシン」「音楽は心の貯金」「音楽は心の応援団」という言葉がとても心に響きました。ゲーム音楽だけでなく、日常を取り巻く音楽の存在は大きいものであることを改めて実感しました。

立命館大学・産業社会学部・3回生

●実際にドラゴンクエストをやっていないくても音楽は知っているという人は数多くいると思いますし、そのようなゲーム音楽はドラゴンクエスト特有なのではないかと思いました。また、ゲーム音楽をオーケストラ音楽として生で演奏することは、ゲームファンがオーケストラ音楽に触れる良い機会を生み出されていると思いました。

立命館大学・産業社会学部・3回生

●音楽を聴くこと、オーケストラを聴くことによる感動体験が「心の貯金」になるという言葉がとても印象に残りました。オーケストラ演奏の映像を見て、音楽の迫力を感じ、実際に足を運び、生の演奏を聴いてみたいと思いました。私の中で音楽に対する世界が広がった気がします。

立命館大学・産業社会学部・3回生

●クラシック音楽やオーケストラにはあまり馴染みがなかったのですが、DVDを見させていただき、オーケストラの美しい旋律は心に染みるものであることがよく分かりました。これを機にクラシック音楽も聴いていきたいと思いました。

立命館大学・産業社会学部・1回生

